



財源確保は どうされているか

補助金の情報収集に努める

総務部長

大野 則男 議員

財源が苦しい中、国・県からの補助金を、様々な制度で財源確保してきたと思うが、部局でどう進めてきたか。

総務部長 財政課の予算査定時において、補助金等の特定財源の有無を県に確認するなど、情報収集している。また、ヒヤリングの際に再度財源確保について指示をしている。

補助金で今までに問題が起きた事案は。

総務部長 合併後の新聞

報道で、補助金での基礎調査の取りまとめを大幅に遅延させたことについて道義的責任があるといった指摘を受けている。市として真摯に受け止め、分限審査委員会で処分を決定している状況だ。今後、そういった間違い等がないよう、特に再発防止に今後も努めていく。

北保育園の廃園への進め方は

永和保育園の指定管理

では、事業者も含めて3年間で検証作業をし、保護者の皆さん、地域の皆さんと合意をしていくべきでは。

市長 市内の私立、公立保育園全てで定員が割れている状況。私立保育園では、市外からの園児を受け入れている状況であり、保育士確保も厳しい状況だ。そういった中、公立保育所の運営等に関する方針及び実施プランに伴う整理である。

北保育園の廃園での説

明会において、様々な問題提起がされたが、進め方、あり方等はどう考えているか。

健康福祉部長 説明会で出された課題は子ども子育て会議において2回検討をした。アンケート等の集計結果と、出された意見、要望を報告し意見を聞いた。その結果、0歳児1歳児が卒園まで通園できるよう修正した。

「議会が承認しなければ保育園の閉園はできないはずだが」という質問

に対して「3月には条例を改正する予定はない。早くても6月か9月だ」と説明会において断言したが、なぜ3月に上程したのか。

健康福祉部長 方針策定の手順として、他の計画と同様に計画策定後にパブリックコメントを実施し、地元説明会、保護者説明会を実施した。その後、子ども子育て会議で

検討をし、承認された。**市長** 市長として、一市民として北保育園が大切であることは十分承知しているが、少子・高齢化、人口減少など社会構造が変化し、バランスが今までと変わり違和感を感じつつある。市を存続させるために、目の前にある現実だけを見ているのは希望は見いだせないと判断した。



▲なぜ急ぐ佐屋北保育園の廃園